



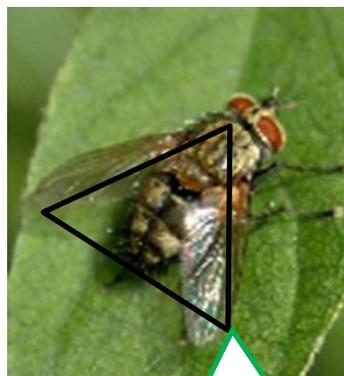
サシバエ対策、秋までしっかりやいましょう！

蒸し暑い季節の到来です。温度・湿度が高くなるとともにサシバエの活動が活発になってきています。吸血昆虫が増えると牛の採食量・飲水量が低下し生産性に影響があり、さらに牛白血病等感染症を伝搬する恐れがあります。

サシバエは春先から発生しており、その活動は初秋に最盛期を迎えます。対策は秋までしっかり続けるようお願いします。

サシバエの特徴

- ・見た目が正三角形
- ・針状の口で牛の血液を吸う
- ・イエバエよりも小さい
- ・春から発生し、涼しくなり始めの初秋に活動最盛期を迎える。
- ・生涯に800個近く産卵する
- ・発生源は堆肥舎、糞便、敷料、飼料箱、水飲場等



正三角形が特徴的！

＜＜ 対策 ＞＞

1 発生源対策

- ・糞便の適切な処理。特に牛舎の隅に固まった糞の除去を！
- ・牛舎周辺の草刈り。サシバエは吸血時以外は草むらで休憩しています。

2 幼虫（ウジ）対策：薬剤散布による駆除

- ・脱皮阻害剤（IGR剤）：幼虫の発生場所に定期的（2週間間隔）に散布
- ・成虫殺虫剤（ピレスロイド系薬剤等）：ハエ、牛体へ直接噴霧

※使用の際は取扱説明書をよく読み用法用量を守ってお使いください。

熱中症予防行動の留意点について

～新型コロナウイルス感染症予防のための「新しい生活様式」におけるポイント～

- ・屋外等で人と十分な距離（2m以上）が確保できる場合には、マスクを外しましょう。
- ・マスク着用時には重労働を避け、のどが渇いていなくてもこまめな水分補給を心掛けましょう。また、周囲の人と十分な距離を取れる場所で、適宜マスクを外して休憩を取ることも必要です。
- ・冷房時も窓開放等により換気を行うと共に、冷房温度設定をこまめに調整しましょう。